

令和8年度 2学期始業式

はじめに、この夏、太田・足利地区あるいは千葉県、石川県の水害、熊本地震、ネパールの洪水、その他世界中で起きている災害でお亡くなりになった方には謹んで哀悼の意を表します。被災された方におかれましては一日も早い日常と復興を応援してまいります。

今年の夏休みは天候不順でしたが、大きな事故や災害、3つの車のお世話になることもなく、今日皆さんの元気な姿を見ることができ、とても安心しました。

今日から、三中という大きな船は、夏休みという港に別れを告げ、2名の生徒を新たにクルーとして迎え、生徒380名、職員40名、計420名で、2学期終業式という港へ向け、長い航海を始めます。

この夏、中体連の県大会・関東大会・全国大会、吹奏楽コンクール、館林市海外派遣、あるいは暑い中頑張った毎日の部活動、全学年朝行われていたスキルアップ学習など、様々な場面で活躍した人、思い出に残る出来事や新しいことに挑戦した人、楽しい時間を過ごした人、少し苦勞した人もいることでしょう。どんな経験も、これからの皆さんの成長に繋がる貴重な財産ですので、全て前向きにとらえ、前に進んでいってください。

さて、2学期という航海は、学校生活の中でも非常に重要な期間です。

そこで出発にあたり、話したいことはたくさんありますが、船長として皆さんに1つだけ覚えて、やってほしいことを話します。

それは、自分の目標を定め、「自分はできる／自分は頑張れる」と強い気持ちを持つ、です。目標とは、「もっと勉強を頑張りたい」「目指す高校へ進学したい」「部活動で

うまくなりたい／勝ちたい」「音楽祭で金賞をとりたい／金賞の向こう側をつかみたい」「修学旅行や職場体験、高原学校でたくさんよい思い出を作りたい」。どんな目標であっても、それを達成するためには、まず「自分ならできる／自分は頑張れる」と強い気持ちを持つことが大切です。

失敗を恐れず、失敗してもどうってことない、と自分を励ましてチャレンジしてみましょう。例えうまくいかなかったとしても、それは決して無駄ではありません。失敗から学び、次へと活かすことで、皆さんはさらに大きく成長できます。そして、何度でも挑戦し、最後に成功させればそれは失敗ではなくなるんです。そして、その姿は他の人を感動させ、あなたの努力をみんなが認めて、さらに励ましてくれることでしょう。

7月28日から、私は館林市海外派遣の団長として違う船に乗り、16名のクルーたちと8日間旅をしてきました。クルーたちは4つの班に分かれ、それぞれが現地の学校の生徒たちに、日本の紹介やレクリエーションを全て英語で行いました。最初はなかなか上手く伝えられなかった彼らも、身振り手振りを交えながら、伝えようとする強い気持ちを持って、言葉を越えた笑顔のコミュニケーションを自ら作り出していました。回数をこなせばこなすほど、会話力や伝え方が上達していく姿はとても素晴らしかったです。まさに失敗を次に活かし成功に収めていくという光景を目の当たりにしました。

三中の皆さんも1回や2回の失敗であきらめないで、目標を定めて、「自分はできる／自分は頑張れる」と強い気持ちを持って、2学期という航海を乗り切ってくれることを私は信じ期待しています。

一方、不安や悩みがある人は、一人で抱え込まないで、絆を信じて自分の心の内を誰かに話してみてください。逆

に、もし、皆さんの周りに元気がない人がいたら、ぜひ積極的に声をかけてあげてください。

また、先生に相談をしたい場合には、担任の先生や学年の先生に限定するのではなく、自分が話したい先生へ声をかけてみてください。もちろんそれは、教頭先生でも、私でもかまいません。三中という大きな1つの船なのですから、遠慮はいりません。

結びに、生徒や先生たちの前向きに取り組む姿が、三中の雰囲気をもっとよく、そして大きな成果を出すことにつながるでしょう。皆さんが笑顔で前向きに、様々なことや人に感謝し尊重できる、充実した学校生活を送れるよう、私たちも一緒に取り組み、楽しかった・成長した・チーム三中・三中ファミリーでよかった、と生徒と先生たちが言える2学期にしていくことを船長として期待しています。

私達の2学期を、全員の力で最高の学期にしていきましょう。終わります。